

ザンビア カフェ国立公園の風景



「みやざき自然塾」での質疑応答の様子

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ORMZ ニュース第 45 号 (H27.8.2)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 平成 27 年も 8 月となりました。全国晴れマークが見られるようになりましたね。宮崎もやっと暑い夏がやってきましたが、各地猛暑となっています。皆様、熱中症にはくれぐれもご注意ください。

今回は、ザンビアで予定していた井戸掘削が進んでいるご報告やみやざき自然塾主催第 19 回コロキウムでの活動報告の様子等をお知らせします。

各地でお祭りや花火大会も開かれることと思います。夏を楽しまれてください。

経過報告 (27 年 7 月以降)

- ・巡回診療は 7 月も順調に実施されています。またルアノ地区で予定していた井戸掘削、3 本掘削ができました。山本ひとみさんからの報告をお伝えします。
- ・前回お知らせしました NPO 法人みやざき自然塾主催の第 19 回コロキウムが、7 月 25 日、宮崎県立図書館で開催され、約 40 名の方々に活動報告を行いました。
- ・内閣府から認定 NPO 法人に対する調査があり、日高が回答しました。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 (事業年度は 1 月から 12 月) では、賛助会費 (個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上) 及びご寄附のご協力をお願いしています。

入金を確認しました際には、日高からその旨メール (又は郵便) を差し上げます。当法人は今年 1 月 28 日に認定 NPO 法人となり、この日以降ご寄付 (賛助会費含む) いただいた際には、後日、税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書 (賛助会費も寄附金と同様税控除の対象) をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高 (info@ormz.or.jp) までご連絡ください。

また、郵ちょ銀行以外の銀行から WEB で振り込まれる際は、できましたら付加情報として住所、氏名 (漢字) を加えていただきますようお願いいたします。何もしないとカタカナの氏名のみ通知されるため上記の対応ができません。どうぞよろしくお願ひします。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称 (全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

ザンビア活動報告 (山本ひとみ様から)

7月16日報告

相変わらず停電の多いルサカ。朝晩の冷え込みが、少し和らいできました。

@7月15日巡回診療 ニヤンカンガ

配車：1台 (運転手：Mr.Tembo) 同行者：Mr.Muleta, Mr.Stunbeko, Mr.Sibanda, Mrs.Chibulika

患者数：109名 おもな症状：咳、下痢、マラリア (陽性患者：5名、重症者なし)

特に目立った患者はありませんでした。

@車両管理

バルーン型：前輪・後輪のボルト・ナットを交換、必要箇所を溶接しました。ブレーキ・シューの交換が必要。近日中に対応します。

ボックス型：スプリングを購入し、交換作業中。

7月19日報告

7月17日、ルアノの井戸3本の確認に行ってきましたので簡単ですが報告します。

@Mainga 掘削日：2015年6月30日

場所：ヘッドマンの家の隣 (Mwantaya ジャンクションより13km)、柵も作られ、水が流れる先に石も置かれている。村人はすでに水を使用している。

水質検査の結果はまだ出ていないので、洗濯や食器洗い、水浴びなどには問題ないが、炊事・飲料については待った方がよいのではないかとヘッドマンに伝えた。



@Tombwe 掘削日：2015年7月5日

場所：ヘッドマンの家の近く (Mainga 井戸より32km) 井戸は浅いのか、ポンプ1回で水が出た。周囲に柵用の木材が準備されていた。ヘッドマンの話によると、雑草処理など周辺の整備も計画されているようだ。

掘削場所が計画されていた場所ではなく、ヘッドマンの家の近くに変更されていた。ヘッドマンの我儘?とも推測される。村人が利用するには、少々不便な場所になっていた。

掘削会社 China Gansu より掘削日から6日経ったら使用可能と説明を受けたとのことで、村人は水を使用し始めている。



@Shelleni 掘削日：2015年7月8日

場所：マンゴマーケットから200メートル (Tombwe 井戸より26km)、計画された場所では水が出なかったため、場所が変更となった。パイプは3本入っているようで、比較的浅めの井戸と考えられる。

現在はポンプに鎖をかけ、使用できないようにしている。

ポンプ周辺のコンクリートは、他2か所に比べると少々雑で



あった。

コンクリートを強くするために、水をしばらくためておくよう助言された。

柵や石など、周辺整備は準備中である。

@関連情報 郡境界線の変更があったとのこと。境界線はムチンダ川。チーフ・チャムカはチサンバ郡、チーフ・チェンベはルアノ郡。Tombweの井戸は、ルアノ郡にあることになるようだ。

*井戸3本とも、特に問題は見当たりませんでした。水質検査の結果がでたら、掘削会社に残金の支払いを行うようにしたいと思います。以上です。

活動報告 (NPO法人みやざき自然塾主催第19回コロキウムにて)

7月25日(土)、午後2時から県立宮崎図書館研修室で、山元香代子先生と日高の2名で、ザンビアの辺地医療を支援する会の活動報告を行いました。約40名の方が参加され、1時間半のお話の後、意見交換を行いました。その際の質疑の様子を簡単にお伝えします。

(1) Q: JICAなどの組織からの支援を受けるのは難しいですか?

A: 難しいです。私たちの活動自体を中々理解してもらえません。それからたとえ支援金が付いたとしても、その使用には様々な「縛り」が付いていて、現場の要求にすぐに対応できない場合があります。

(2) Q: ザンビアでの生活で注意しておられることは?

A: ザンビアの治安は良い方ですが、さすがに夜は外出しない方が良いと思います。それから盗難には注意が必要です。身体の方は現地生活に慣れば大丈夫です。

(3) Q: ルアノ地区の子供の教育はどうなっているのでしょうか?

A: 義務教育はありますが、村人が先生です。農繁期には先生が忙しいので、学校は休みです。満足な教育は行なわれていないようです。

(4) Q: HIV検査はどうなっていますか?

A: HIV感染の検査は実施していますが、陽性ならば確認のためヘルスセンターを受診することになり、遠いところまで出かけなければならないという状況です。

(5) Q: 同じような活動を伝える映画「風に立つライオン」を観たのですが、やはり活動の拡大と継続性が重要なポイントになると思いますが?

A: 自分が活動を辞めたらゼロに戻るといったことはないと思います。ルアノ地区にヘルスポスト(診療所)を建設し、私の活動を引き継ぐ現地の人たちの拠点にするのが将来の夢です。

(6) Q: ご自分を「犠牲」にしているという気持ちはありませんか?

A: 全くありません。辺地の生活でも全然退屈しませんし、充実しています。自分の好きなことをさせてもらっているという気持ちの方が強いです。他人が考えると些細なことにも「幸せ」を感じています。

*自然塾の理事の方から:宮崎(都城市)出身の女性がこのように素晴らしい活動を地道に進めていらっしゃることは、不覚にも私は知りませんでした。(中略)医学をしっかりと勉強されて、辺地の医療に身を捧げておられる話しをお聞きして、身の引き締まる思いがしました。一番印象的だったのは、山元氏がこの大変な仕事に、「自分を犠牲にして」とか「悲壮感を持って」とかいうものとは全く別の姿勢で、むしろ大いに楽しんで取り組んでいらっしゃる、という点でした。これはできそうでいて中々できないことでもあり、そしてこのような活動を長続きさせる何よりの方法だと感心しました。

以上

今後ともどうぞご支援のほどよろしく申し上げます



足立塾長 開会の挨拶



山元香代子先生講演の様子